

第3次 東近江市地域福祉活動計画

「東近江市地域福祉活動計画」は、東近江市に暮らす高齢者や障がい者、子どもをはじめ、すべての住民が支え合い、安心して暮らし続けることができる『福祉のまちづくり』を進めていくための計画です。

「地区住民福祉活動計画」「地域福祉推進計画」「基盤強化計画」の3つの計画で構成しています。

地区住民福祉活動計画

住民がすすめる福祉のまちづくりの目標であり、活動していくための計画。
市内14地区でそれぞれに、福祉活動やまちづくりに携わる住民のみなさんと策定。
住民の「こんな地域にしたい」という思いや、「地域らしさ」をカタチにしたもの。

地域福祉推進計画

東近江市社会福祉協議会が住民や様々な団体・関係機関とともに、市域で地域福祉活動を推進していくための計画。

スローガン

つながりと地域愛でつくる
ふだんのくらしのしあわせ

- 目標① ふだんのくらしの場で一人ひとりが誰かとつながれる機会や場づくり
- 目標② 困っている人をほっとかない支え合える地域づくり
- 目標③ 一人ひとりを知り、理解し合うための福祉共育
- 目標④ 困りごとの解決に向けたネットワークの構築
- 目標⑤ 命と暮らしを支える社協の相談支援体制の強化
- 目標⑥ 福祉のまちづくりをひろげる情報発信
- 目標⑦ 福祉のまちづくりを推進するためのサポート

基盤強化計画

地域福祉を推進するために必要な、東近江市社会福祉協議会の組織や体制のあり方を示し、その基盤の強化をすすめるための計画。

《愛東地区住民福祉活動計画》

策定：愛東くらしの会議

編集・発行：社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

(Tel 0748-20-0555 IP 0505-801-1125 Fax 0748-20-0535)

第3次 愛東地区住民福祉活動計画

愛の田園プラン

令和4年度～令和8年度



愛東くらしの会議

社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

ま ち 愛の田園フランチ

愛の田園プランとは…

誰もが幸せに暮らせるまちを目指し、みなさんの声をもとに作成しました。普段の暮らしの中でちょっとずつできそうなことをみんなで取り組むふくしのまちづくり計画です。

写真：山本和彦さん（百済寺本町出身）

愛東はこんなまち！

豊かな自然と愛東らしさを大事にしたまちづくりをすすめてきました。果樹栽培、マーガレットステーション、菜の花エコを始めとした先進的なことにも取り組んできました。高齢者の知恵と経験、若者が語る夢がまちづくりに活かされてきました。日常では、顔を合わせたときに声をかけ合う、そんなあたたかい人と人のつながりがあります。また、大人の優しい見守りの中、子どもたちが元気に遊んでいます。こんなまちで育まれたあたり前の良さが助け合いにつながっています。

一方で、病院・買い物の移動など暮らしに課題を抱えた人も増えてきていますが、「手助けしてほしい」「手助けしようか」と、声をかけにくかったり、集落の中では人が集まる機会が減り、暮らしの困りごとに気づきにくくなったりしています。また、若者や子どもも少なくなってきました。こういったことから、あたり前にある愛東の良さに意識をもたないと、助け合いの心が薄らいでいくのではないかという心配があります。

みんなのねがい

子どもたちには、ずっと愛東を好きでいてほしいな。

いくつになっても自分の
のできることで役割を
もって、イキイキ暮ら
したいな。

車に乗れなくなっても、
お店に行って、自分で
買い物をしたいな。

大雪になると、家から
出られなくなって不安…ちょっと助け
てほしいな。

愛東のいいところをも
っと発信したいな。

身近に気軽に行けて、
人と話せたり、一緒に
楽しいことができる場
があるといいな。

誰もが気軽に「助け、
助けられる」関係がで
きるといいな。

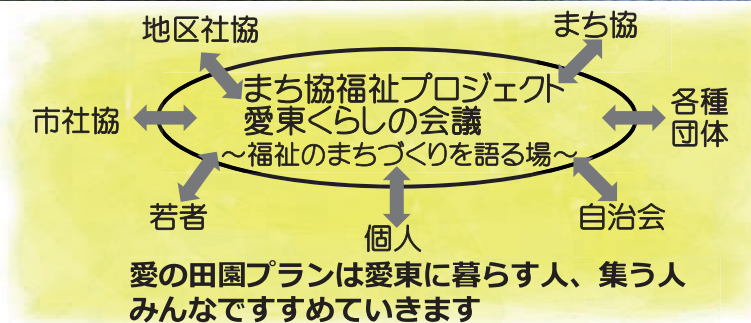


↑QRコードから愛東の皆さんの声をまとめたものを見ることができます

“愛東のあたいまえの良さ”を見つめなおしながら 未来へつないでいこう！

一人ひとりが大事な一役となって 人と人、人と場、人と活動がつながる場やしくみ

- ・愛東の魅力（人・場・取り組み・みんなの願い・こんな暮らしができる！）を発信します。
- ・みんなができること、好きなこと、得意なことで関われる場や機会を考えます。
- ・いろいろな人の声を聞いて愛の田園プランの推進に活かします。



助け合える集落づくり

◆取り組んできたこと

- ・福祉委員会座談会、しあわせホームボランティア交流会を開催。支え合いについて話し合いました。
- ・認知症になっても安心して暮らせる地域を考える研修会を開催しました。
- ・命のバトンの啓発を通して、人を大切にし、見守り合える地域づくりをすすめました。



命のバトンの啓発

◆さらに3次計画では…

- ・福祉委員会、民生委員・児童委員などの活動を中心に集落の絆を深めます。
- ・ひとりぼっちにならないよう、みんなが意識して声かけ、見守りをすることをすすめます。
- ・しあわせホームのような集まれる場、つながる場、見守り合う場を広げていきます。

元気なまちづくり

◆取り組んできたこと

- ・愛東に関わる若者を中心に映画製作を通して愛東の魅力を発信しました。
- ・中学生と学校の取り組みや愛東の良さを話し合い、一緒にできることを考えました。
- ・「愛東のお宝 発見」を発行し、愛東の良さを発信しました。



中学生懇談会

◆さらに3次計画では…

- ・「愛東が好き」という子どもたちの思いを大事にし、育んでいきます。
- ・若者と一緒に、みんなが住みたいと思えるまちづくりをすすめます。
- ・「愛東っていいところやな」と実感できる取り組みの輪を広げます。

暮らしの安心づくり

◆取り組んできたこと

- ・福祉施設が連携し、車両の貸し出しで移動支援の取り組みを始めました。
- ・近江温泉病院と連携し、通学応援バスのしくみをつくりました。
- ・たくさんの人の関わりで買物、交流ができる場ができました。
- ・多様な団体が連携し、防災講演会を開催しました。



移動販売

◆さらに3次計画では…

- ・買物、通院、通学等の移動支援の輪を広げます。
- ・災害が起こっても、助け合って避難できるように防災について考える機会をつくります。
- ・地域の中に心配ごと、困りごとをみんなで話せる場、相談できる場をもち助け合いにつなげます。
- ・集落同士の助け合いを考えていきます。